セラルクス®TD（両口金形）150W

1 両口金形メタルハライドランプ用器具代替に

既存の両口金形コンパクトメタルハライドランプ※1用器具にそのまま使用でき、メンテナンスにより空間の質的向上が図れます。安定器はセラルクス・ハイラックス用電子式・一般形（MS-TCP）も併せて使用できます。

※1 日本工業規格JIS C 7623メタルハライドランプ性能規定MQD150・70タイプ

2 高効率

ランプ効率が90ℓm/Wの高効率。両口金形コンパクトメタルハライドランプと比較し、約1.2倍の高効率化が図れます。（4300K）

3 1Aクラス※2の高演色性

平均演色評価数（Ra）が最大92と1Aクラス※2（Ra90以上）を実現し、色彩を鮮やかに映し出します。3500K温白色タイプは、メタルハライドランプが弱いとされる赤みの見え方を改善。赤が映えることでバランスのとれた良質な空間を創り出します。

※2 CIE1986国際照明委員会推奨基準

4 光色のばらつきや変化を低減

セラミック発光管採用により、光色のばらつきや変化を低減。

5 UVカットコーティングを標準装備※3

ランプ外球に紫外域の光（380nm以下）を約90%カットするUVカットコーティングを標準装備※3。多くの虫が集まる習性をもつ紫外域の光をカットすることにより虫の誘引性を低減。さらに紫外域の光による被照射物の変退色も低減します。

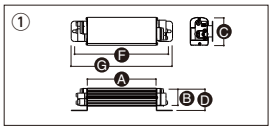
※3 コーティングによる光束低下はありません。

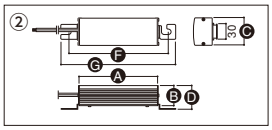
6 低パルス始動の安全設計

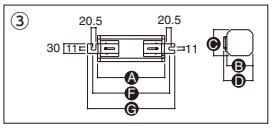
始動パルスを3.5kV以下に設定。口金や器具ソケット、安定器などへの負担を軽減。

■セラルクスTD（両口金形）用安定器

種類		定格電圧（V）		形式	希望小売価格（税抜）	入力電流（A） 無負荷時	始動時	安定時	入力電力（W）	二次電圧（V）	二次短絡電流（A）	二次側配線長	質量（kg）	適合ポール	寸法（mm）	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ	Ⓕ	Ⓖ
150W用	電子安定器（屋内専用）（セラルクス・ハイラックス用）	100V 200V 242V 共用	100V時	HX1.5ESH1/2.4-L8	¥27,500	0.36以下	0.36以下	1.71	171	299	2.7	2m以下	0.8	—	①	207	52	75	62	264	277
			200V時					0.84	166												
			242V時					0.67	166												
	電子安定器（屋内専用）（セラルクス用）	100V 200V 242V 共用	100V時	CE1.5ESH1/2.4-L8	¥27,500	0.36以下	0.36以下	1.71	171	299	2.7	2m以下	0.8	—	①	207	52	75	62	264	277
			200V時					0.84	166												
			242V時					0.75	166												
	電子安定器（屋内・屋外用）（セラルクス・ハイラックス用）	100V 200V 共用	100V時	HX1.5ESH1/2-S10	¥35,500	1.88以下	1.88以下	1.71	171	299	2.7	10m以下	1.5	—	②	232	49	64	59	275	306
			200V時			0.93以下	0.93以下	0.84	166												
	一般形高力率	100		MS1.5TCP1A(B)43	¥34,500	3.6	2.00	1.96	185	240	2.30	15m以下	6.0	5B	③	280	80	84	90	315	345
		200		MS1.5TCP2A(B)43	¥33,100	1.80	1.00	0.98	185	240	2.30		6.0	5B		280	80	84	90	315	345







安全機能付安定器

■電子安定器（①、②）が対象となります。
■一般形安定器（P1447 解説）表中③が対象となります。

安定器の注意事項

■形式のA（B）のAは定格周波数50Hz、Bは60Hzを表し、それぞれ別商品となります。
■HX1.5ESH1/2.4-L8は出力側も端子台付となります。
出力側が電線付（B1.5HX1/2.4-01）も用意しています。
■適合ポールは、施工上・安全上の観点から推奨するサイズを記載しています。
■P1445、下記の安全上のご注意、ご使用上の注意をよくお読みください。

ご使用上の注意

- ●屋内用電子安定器の周囲温度は、−10～+45℃の範囲内でご使用ください。（CE1.5ESH1/2.4-L8は、−10～+40℃）
- ●屋内・屋外用電子安定器の周囲温度は、−5～+40℃の範囲でご使用ください。
- ●一般形安定器の周囲温度は、−10～+40℃の範囲でご使用ください。
- ●電源電圧は、使用する安定器の定格電圧の±6%以内でご使用ください。
- ●安定器からランプ（照明器具）までの配線長は、表中の数値以下になるようにしてください。始動用パルス電圧が低下しランプが始動しないおそれがあります。
- ●屋内・屋外用電子安定器は、以下の点にご注意のうえ、ご使用ください。
  - ・設置の際は、電線側を下向きにし、放熱面を造営材から100mm以上離してください。
  - ・振動のある場所では使用しないでください。
  - ・ポール内などに設置の際は温度確認が必要です。また、直射日光が当たる場所など温度上昇が予想される場所では使用しないでください。
- ●安定器をまとめて使用する場合、安定器相互の間隔をケースの幅以上離し、通風をよくしてください。
- ●適合するランプ、器具と組合せてご使用ください。不適合のランプや器具でのご使用は感電のおそれや、故障につながるおそれがありますのでご注意ください。ランプ始動のため高電圧パルスが発生しますので、ランプの交換や照明器具の清掃の際は、必ず電源を切ってください。また、テスタなどでの二次電圧の測定も避けてください。テスタ故障のおそれがあります。
- ●安定器は、各種の保護機能を内蔵しています。
  電子安定器の場合…
  パルス停止機能付　温度スイッチ（復帰形）
  電流ヒューズ（非復帰形）内蔵
- ●パルス停止機能:ランプが不点になった場合、約20分間放置しますと自動的に高電圧パルスが停止いたします。ランプ交換の際は、必ず電源を切ってください。（電源を切ることによりパルス停止機能がリセットされます）電源をそのまま入れた状態でランプ交換を行っても点灯しません。
- ●電子安定器は、50Hz/60Hzで共用できます。
- ●口金は、耐パルス性能を備えた専用ソケットをご使用ください。
- ●ランプ交換の際、ランプの大きさ（ワット数）をご確認ください。万一、組合せを間違えますとランプや安定器が短寿命になったり光色が変化します。
- ●安定器や器具、及び配線をワイヤレスマイクや赤外線リモコン機器、テレビ、ラジオなどの電子機器に近づけないでください。それらの機器が正常に動作しないことがあります。
- ●安定器は、若干騒音を発生します。図書館、学校、病院、応接室など静かさの要求される場所で、天井内に設置できない場合は、弊社営業所、設計センターに事前にご相談ください。
- ●電力線搬送を使用した機器と電源を共有すると、電力線搬送機器が正常に動作しない場合があります。
- ●一般形安定器を屋外で使用するときは、口出線の向きが下側になるようにしてください。
- ●一般形安定器の場合、安定時の電流よりも始動時や無負荷時の電流が大きいものがあり、ブレーカの遮断容量や配線容量を超えることがあります。安定器の入力電流の値をご確認のうえ、設計にご配慮ください。
- ●調光はできません。

※表示価格には消費税は含まれておりません。